

ゆうゆう 21

高齢者コミュニティ
浜松〈ゆうゆうの里〉

浜松〈ゆうゆうの里〉

静岡県浜松市北区細江町中川7399
TEL: 053-439-2711(代)

2018

9

第61号

発行/2018年9月20日

特集

浜松〈ゆうゆうの里〉が医療面でも安心といえる訳

浜松〈ゆうゆうの里〉では健康相談室に看護職員が24時間常駐。近隣に集積する総合病院や専門クリニックを活かしながら、入居者の健康をサポートしています。具体的にどのような役割を果たしているのでしょうか。

治療・手術の選択、セカンドオピニオンなど、本人が理解して決断できるように支援しています。その際、必要に応じて、医師の言葉を易しく解説し、入居者や家族の気持ちを代弁して医師に伝えます。終末期においては、入居者の意思にもとづいた最期が送れるように計らいます。

■生涯に渡って、入居者の健康を守る身近な相談者であり、医療の選択判断に迷った時の助言者です。
ちよつとした健康上の不安や悩みでも、気軽に相談できます。不安がなくなるよう必要なアドバイスをしています。

■365日24時間、緊急時は生命維持に必要な判断と対応をします。
怪我や病気になった場合は、迅速に的確な応急処置等を行います。また、速やかに医療機関での治療が受けられるようにします。

■介護職員と連携し、入居者お一人おひとりの健康状態を見守り、異変を見逃しません。
介護職員は入居者をよく知っているから、日々の小さな変化にも気がつくことができます。異変に気がついた介護職員と連携し、体調を確認して必要な手を打ちます。

■健康状態の変化を把握し、必要なアドバイスや医療機関の推奨をします。
入居者の健康ファイルを管理。年2回の人間ドックに加えて、月1回の健康診査(血圧・体重・尿検査)で健康状態の変化をみていきます。

■入居者のコメント

「医師から心臓の手術を薦められた時、健康相談室の田中さんに相談。他の医療機関へのセカンドオピニオンの助言を受けました。現在、手術せず元気にしています。相談して良かったです。」(T・N様)

「大病が発覚し、医師からの治療方針の説明を聞くと、田中さんが同席してくれて心強かったです。おかげさまで、迷いなく決めることができました。」(M・F様)

■健康相談室 田中課長のコメント



入居者の立場に立つて、医療機関に向き合うことが使命だと思っています。入居者に対する愛情と責任を感じて「入居者の健康は私たちが守るんだ」という強い気持ちで仕事をしています。



【健康相談室】

入居者の健康をサポート

素顔のご入居者 第五十一回

手に入れたセカンドステージ、

今が最高に幸せ

杉浦 治世様(67)

いつも笑顔で明るい杉浦様。ポランティア活動と趣味のスポーツを通じて知り合ったお友達に囲まれ、はつらつとした素敵なお入居者です。

【早く自立したい】



▲今日の予定はヨガ教室

私は帽子屋を営む両親のもとに2人姉妹の妹として生まれました。父が早くに亡くなり、母は私達姉妹を苦労して育ててくれました。母ひとりで家族を養う事は大変で、幼い頃より「早く自立したい」という気持ちが芽生えたような気がします。私の名は父が医学の道に進んでほしいという思いで「治世」と付けてくれました。その名の通り薬剤師

を目指していましたが、高校三年の冬に経済的な理由で希望の大学への進学を諦めました。卒業と同時に通っていた高校の実験助手として働き始めましたが大学への夢が捨てられず、仕事を終えてから夜間大学に通い、卒業することが出来ました。薬剤師にはなれませんでした。高校職員として定年まで勤めあげた仕事人生は、充実し満足いくものでした。

【船乗りの夫と電撃結婚】

夫とは幼馴染みの紹介で知り合いました。世界の海を渡る海洋航海士でした。私達は出会って2ヶ月で結婚しました。夫からの結婚指輪はペルーで買ったものでした。夫は結婚を機に船を降り、港での勤務に代わりました。

【お母さんは逃げないよ】

子供は娘ひとりと息子がふた

り。長男は夫譲りの立派な体格で、子供の頃からバスケットボールの花形選手。賢く明るく、みんなの人気者でした。一変したのは15歳の春。高校受験の壁は息子に人生初の大きなつまずきを与えました。行き場のない息子の感情は家庭内暴力という形で噴出しました。息子が苦しむ荒れる姿は、言葉では到底表せるものではありませんでした。私は自分の倍もあるような大きな息子からの暴言と暴力で痣は日常的、時には流血さえも。なんで？どうして？あんないい子が？光を求めてありとあらゆる方面を調べました。そんな中で、ある疾患に確信を持ちました。「統合失調症」。

19歳の時、嫌がる息子を無理やり入院させました。入院は息子に大勢の人との関わりを与え、それが立ち直りのきっかけになりました。息子自身の「このままでは終わりたくない」という強い気持ちがある自分の疾患と向き合わせ、少しずつ明るい光に向かって進み始めました。退院後、14回の転職を経て、自分に合った職

【今の私は本当に幸せ】

子供達もそれぞれ落ち着き、今度は自分自身のために次の幕を上げたいと強く感じた私は、ゆうゆうの里に入居を決めました。今はまだ気力も体力も充分ありません。やりたいことは何でも挑戦！をモットーに、この新しい地で新しい仲間と出会い、毎日が楽しくて仕方がありません。私は何もいらな思っています。子供たちには私が持っている全てを分け与えてあげたい。そして彼らに面倒をかけないよう、長く健康でいたいと思っています。今、心から幸せを感じています。



▲右から2番目。ポーズもバッチリ。このあと仲間とランチです。

いきいき生活シリーズ ②⑧
楽器つて
こんなに面白い!

日々の暮らしを楽しむ秘訣のひとつは何かに夢中になる事。今回は楽器演奏を趣味としていきいき輝くご入居者にお気に入りの楽器との暮らしを伺いました。

●念願のハワイアンバンド結成!
(スチールギター 伊藤邦男様)

若い頃ラジオから流れる音色に魅せられました。スチールギターはハワイ音楽になくてはならない独特の音色を持つ楽器。テクニックに加え奏者の感性も



ハワイアンバンド、お揃いのアロハで。

重要で、同じ曲でも個性が強く出ま
す。難しいけどそこが面白い。入居して、念願のハワイ

アンバンドを結成。仲間と音を作る一体感や観客の前で演奏するわくわく感。そんな楽しみが増えました。私はいつも車に乗せてでかけます。外出先でちよつとした空き時間や、時には車から降りて外の風に吹かれて弾く事もあります。今後はスチールギターでジャズにも挑戦しようと思っています。

●予想外の感動、また弾けるのね
(箏 生田流宮城派 女性 I様)

お箏を習い始めておおよそ60年。娘時代には熱心にお稽古しました。家庭に入ってから次第に遠のき、いつしか触ることも無くなりました。こちらに来るのを潮に、置いてくるつもりでしたが、ホールで弾いている方をお見かけして「まさか、ここで弾けるの?」と驚き感動しました。現在は女性3人で週に1度ホールで練習しています。秋の文化祭で3人揃っての演奏を聞いていただくことも励みです。3人それぞれ流派が違う為、相談して私達流の曲にアレンジしています。こちらに来て、型

にこだわらず自由に楽しむお箏との付き合い方を見つけました。

●僕のピアノは鼻唄ピアノ♪
(ピアノ 水野英男様)

軽く鼻唄を唄うように気ままに弾くのが僕流、勝手に「鼻唄ピアノ」と名付けています。家にある娘のピアノを弾いてみたのがきっかけです。両手を使つて複雑な音を奏でられるところが好きですね。僕の弾き方は、右手は譜面通りにメロディーを、左手はコードに添って即興です。好きなのは50年代、60年代の日本のフォークソング。普段は車椅子の妻の時間に合わせて空いた時間にはアフロアーにあるピアノを弾いています。傍らの妻だけでなく、フロアーにいる人、行きかう人、なんとなく聴いていてくれるようです。何しろ即



フロアーに優しい音が流れます

興ですから、二度と同じようには弾けない事もありますが、それでいいじゃない、自分の楽しみと傍らの妻の為に弾いています。

●衝動買いして2ヶ月、
キーボードに挑戦中

(キーボード 鈴木英世様)

キーボード歴は2ヶ月。立ち寄った楽器店でふとキーボードが目に入り、衝動的に買ってしまいました。キーボードは面白いですよ、打楽器、弦楽器、民族楽器、多彩な音が出せます。自動演奏もしてくれるので初心者でもちよつと上手になった気分が味わえるんです。ヘッドフォンを使えば部屋で、好きなだけ練習できる点も気に入っています。先日勇気をもって外部のキーボードサークルに入りました。今は、発表会を前に毎日特訓中です。始めて2ヶ月、新しい楽器との出会いにわくわくしています。上達したら、その先にもっと楽しい事が待っている、今後に期待しています。

～今ならモデルルームで体験入居ができます！～

元気な時に入居する施設の暮らしがどのようなものか体験してみませんか。今なら、実際に入居者が暮らす同じお部屋で体験入居ができます。



Bタイプ モデルルーム



↑ Bタイプ間取り図
(30.0㎡・1DK)

入居者に聞きました

体験入居してよかったことはなんですか？

『元気な人がどんな暮らしをしていたか知ることができたこと!』(M様男性) 私自身とても元気で、正直入居はまだ早いかな、と思っていました。なので、元気な人が入居してどんな風に暮らしているのか直接聞いてみたかったです。食堂や大浴場も一緒にできゆっくり話を聞きましたよ。サークルや趣味の活動、歴史の講演など活躍している様子を聞き、私も楽しみながら暮らせるんだな、とわかりました。実際に入居者から話を聞き、自分の目と耳で確かめられたことは体験入居中の大きな収穫でしたね。

『集団生活への不安を解消できたこと!』(K様女性) 集団生活に馴染めるかどうかとても不安でした。それを確かめるために、体験入居の時にたくさんあるサークルの中で、私が興味を持っていた卓球サークルに参加させてもらいました。第一に皆さんがとにかくフレンドリー。あ～、温かいなあと思いましたよ。同世代の人が元気に楽しそうにやっている姿も印象的で、特別なことではないんだな、こういう人たちと一緒になら、入居してもやっていけそう、大丈夫!と怖くなくなりました。雰囲気も知ることができて本当に参加させてもらって良かったです。

『部屋での暮らしを確認できたこと!』(N様女性) 1人だから、入居するとしても広い部屋はいらないと思っていましたが、気になるお部屋タイプが2つありました。私はタイミング良く両方のモデルルームで体験入居ができ比較もできました。メジャーを持参し持って来たい荷物が入るかどうかが、配置はしやすいか、部屋にあるキッチンやお風呂、洗面などの使い心地、暑さや日当たり、周りの音なども、部屋でゆっくり過ごしながら確かめました。こういうことは泊まらないとわからないので、何度も泊まって良かったですよ。

※体験入居ご希望の方は下記フリーダイヤルへお申込ください。
 <体験入居 費用 お一人様1泊2日 夕朝食付 3,000円>

お申込み・お問い合わせは
 浜松へゆうゆうの里へまで
0120-600-4195

※定員は各日25名です。

参加費 お一人様 五〇〇円
 (昼食付・税込)

J R 浜松駅北口
 午前10時00分集合

J R 豊橋駅西口
 午前8時45分集合

● 豊橋発浜松経由 ●

11月5日(月) 12月5日(水)

参加費 お一人様 一、〇〇〇円
 (昼食付・税込)

J R 名古屋駅太閤通口 銀の時計前
 午前8時45分集合

12月2日(日) 11月1日(木)

● 名古屋発 ●

9月30日(日) 11月1日(木)

左記のとおり見学会を実施いたします。皆様とお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

バス見学会のご案内